

みちづくり計画の改定(案) について

- ▶ 平成27年9月24日
- ▶ 神戸市建設局

改定のポイント

Point.1

柱を3本に再編する

Point.2

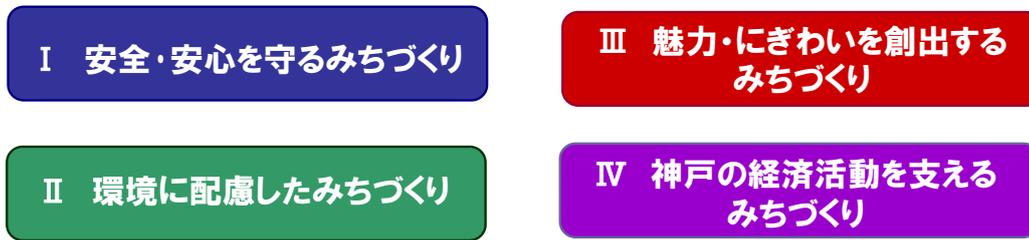
推進に向けた視点を設定する

Point.3

地域特性に応じた対策を推進する

Point.1 柱を3本に再編する

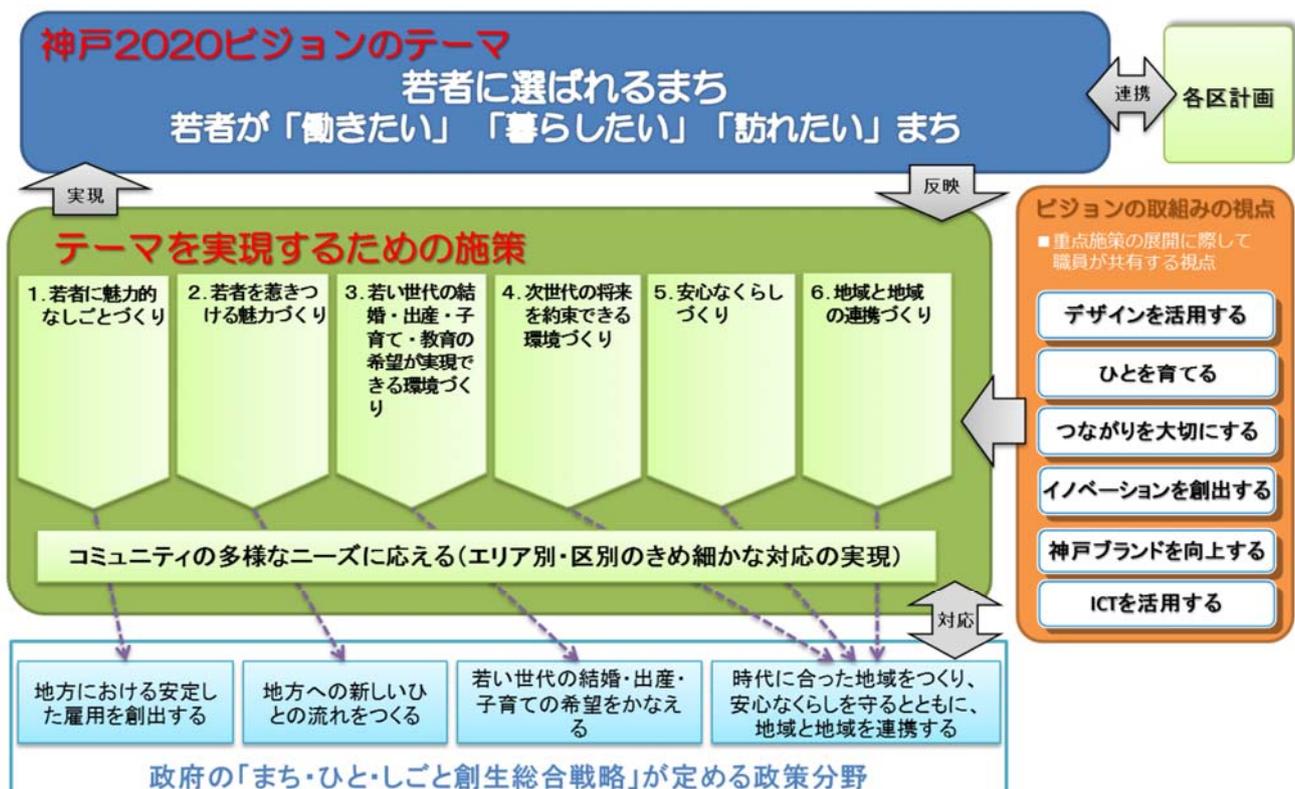
▶ 現・みちづくり計画の柱



- ・社会潮流(少子高齢化、人口減少の進行、地方創生等)
- ・上位計画「神戸2020ビジョン」のテーマを「みちづくり」に反映

3

神戸2020ビジョンの全体構成図(素案)



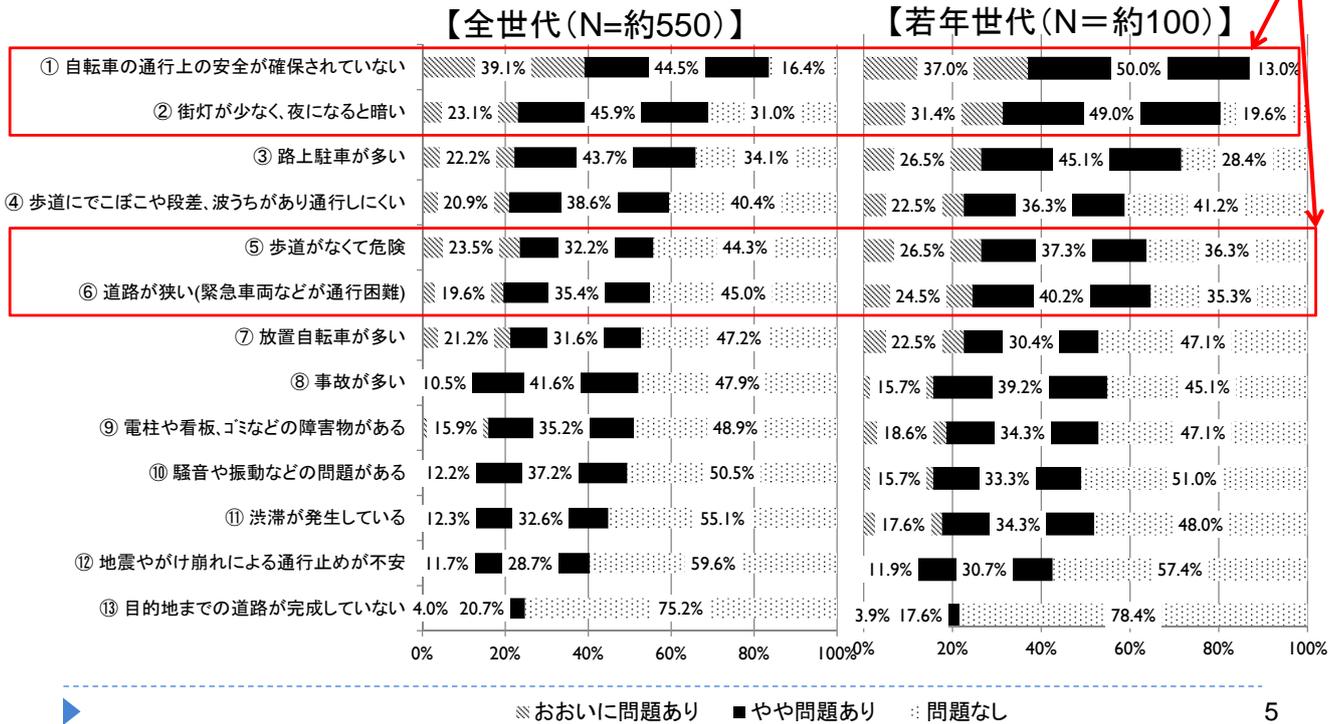
出典：第5回神戸2020ビジョン策定に向けた有識者検討会議

4

Point. 1 柱を3本に再編する

交通安全や防犯を重視

▶ 市民アンケートによる満足度(H26) ※若年世代:20~39歳



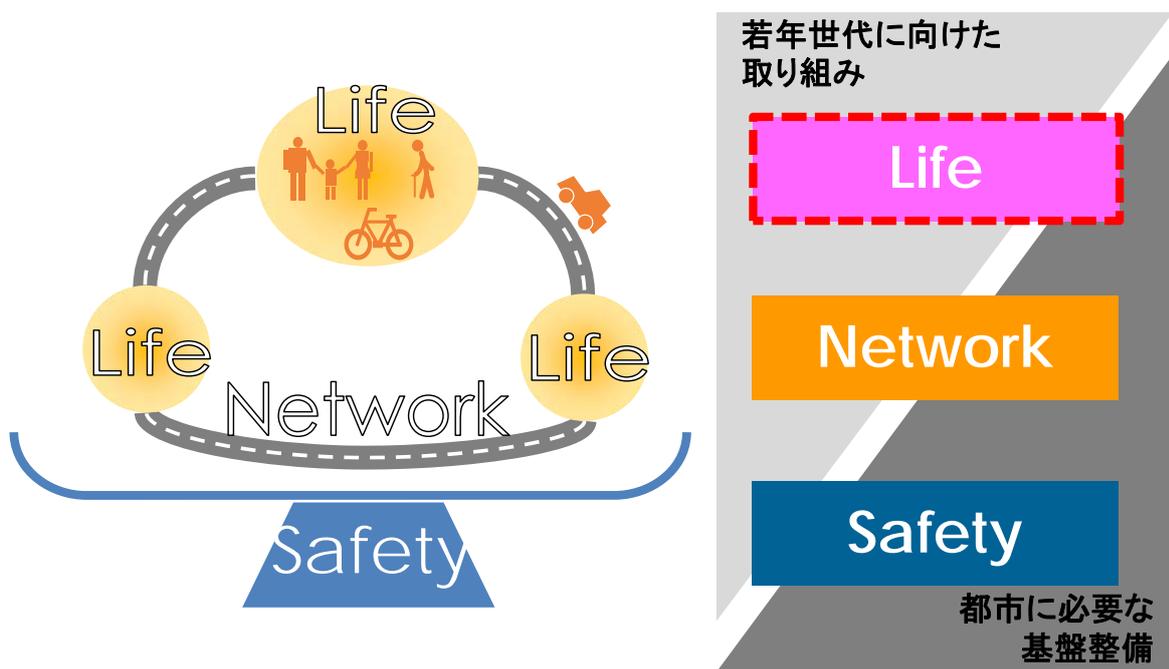
Point. 1 柱を3本に再編する

▶ 人々が訪れるまちを目指す

・「神戸の都心の未来の姿」や「三宮再整備基本構想」において、人々が訪れるまちを目指し、にぎわいや景観等を柱に位置づけている。



Point.1 柱を3本に再編する



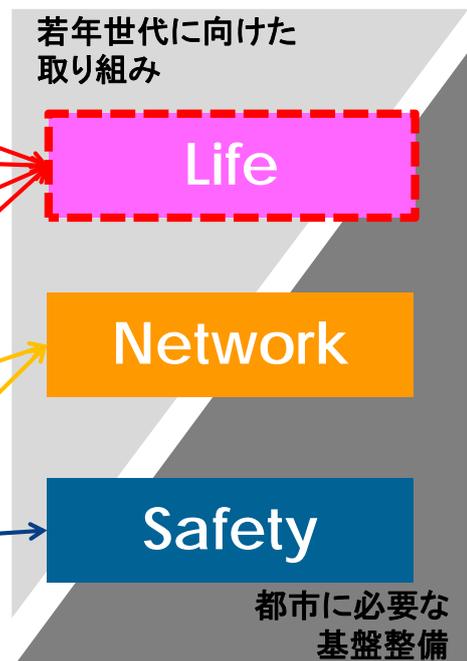
7

Point.1 柱を3本に再編する

2020ビジョンの柱

1. 若者に魅力的な
しごとづくり
2. 若者を惹きつける
魅力づくり
3. 若い世代の結婚・
出産・子育て・教育の
希望が実現できる環
境づくり
4. 次世代の将来を
約束できる環境づくり
5. 安心なくらしづくり
6. 地域と地域の
連携づくり

みちづくり計画の新たな柱



8

Point.1 柱を3本に再編する

現・みちづくり計画の柱

I 安全・安心を守るみちづくり

II 環境に配慮したみちづくり

III 魅力・にぎわいを創出する
みちづくり

IV 神戸の経済活動を支える
みちづくり

みちづくり計画の新たな柱

若年世代に向けた
取り組み

Life

Network

Safety

都市に必要な
基盤整備



9

Point.1 柱の再編

Life

～道路のリデザインによる

市民生活の質の向上～

10

みちづくりの指針(2025年将来像)

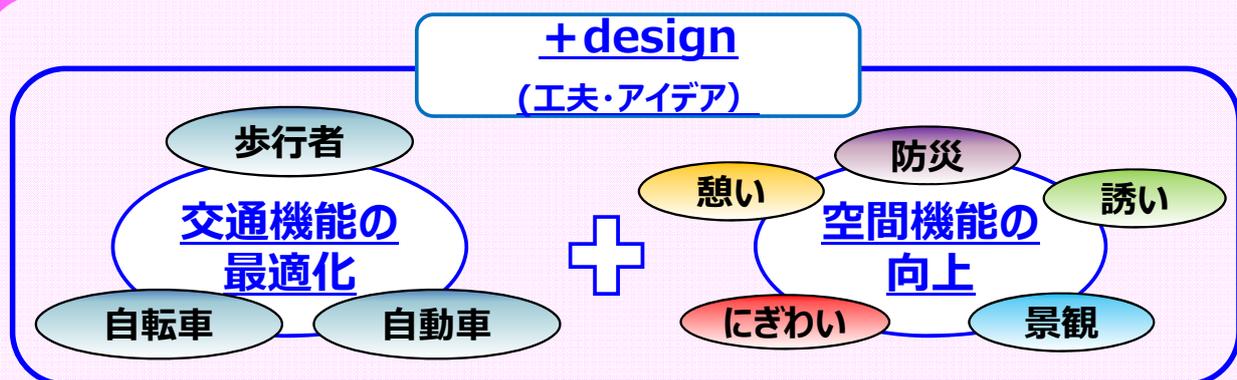
Life

～道路のリデザインによる市民生活の質の向上～

- ・地域の特性に応じて、交通機能の最適化と空間機能の向上を図り、円滑で快適な移動空間の実現と若年世代等が訪れ集う魅力的な回遊空間を創出する、「道路のリデザイン」を推進することにより、市民生活の質の向上を目指す。

11

道路のリデザイン



- ・歩行者・自転車・自動車のバランスを検討し、交通機能の最適化を図る。
- ・画一的な道路整備から、地域の特性に応じ道路整備を行うことにより、憩いや防災、誘いなど、空間機能の向上を目指す。
- ・「+ design(工夫・アイデア)」の視点を取り入れて、地域課題の解決に資する整備を行い、まちのリノベーションにつなげる。

12

1.誰もが安全・安心に歩きやすいみち

(1)ユニバーサル歩道整備事業

波打ちの解消



(2)セーフティロード整備事業

交通安全総点検



2. 自転車が利用しやすいみち

(1)自転車走行空間の整備



自転車レーン

(2)駐輪対策の推進



路上駐輪場



コミュニティサイクルポート

(4)自転車利用の利便性向上

3. にぎわい・憩いを創出するまち

①魅力的なオープンスペースの創出



サンクンガーデン

③夜間景観の形成



777-ロード
「光のミュージアム」



葦合南54号線

②にぎわい、憩いあふれる回遊空間の創出

15

4. 景観に配慮したまち

(1)道路デザインの向上

(2)まちなみに調和した街路樹の管理



(3)美しいまちづくり



市民団体はがし隊

Point.1 柱の再編

Network

～生活圏の拡大・地域経済の活性化～

17

みちづくりの指針(2025年将来像)

18

Network～生活圏の拡大・地域経済の活性化～

・地域間のひと、モノの流れを創出するネットワークの形成や既存の道路を賢く使う取組等を推進することにより、人々の生活圏の拡大、雇用の創出や地域経済の活性化、さらには神戸・関西の持続的な発展と安定した成長を目指す。

1. 広域幹線道路ネットワークの構築

(1) 広域幹線道路ネットワークの整備

大阪湾岸道路西伸部



2. 都市内幹線道路・補完的幹線道路ネットワークの構築

(1) 都市内幹線道路・補完的幹線道路ネットワークの整備



(3) 踏切対策によるボトルネックの解消



Point.1 柱の再編

Safety

～しなやかで強いインフラ～

21

みちづくりの指針(2025年将来像)

22

Safety

～しなやかで強いインフラ～

- ・社会資本の戦略的な維持管理・更新により、**道路構造物の延命化と健全性確保**を図るとともに、地域特性や災害特性に応じた**防災・減災対策**を実施することにより、**しなやかで強いインフラ**を実現する。

22

1. 災害に強いみち

(1) 緊急輸送道路ネットワークの構築

無電柱化の推進







緊急輸送道路における橋の耐震化

塗装塗り替え
落橋防止装置の設置

2. 次世代に継承できるみち

(1) 戦略的なメンテナンス

定期的な点検の実施
第三者への被害を防止

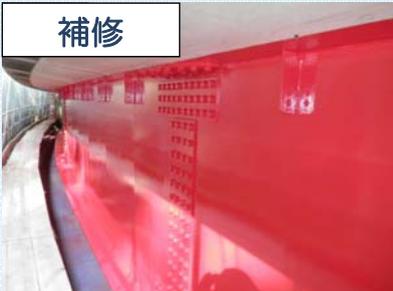
点検



修繕

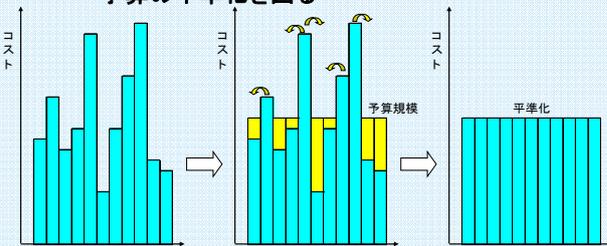
計画

計画に基づく修繕を実施



補修

点検結果を反映
優先順位の設定、
予算の平準化を図る



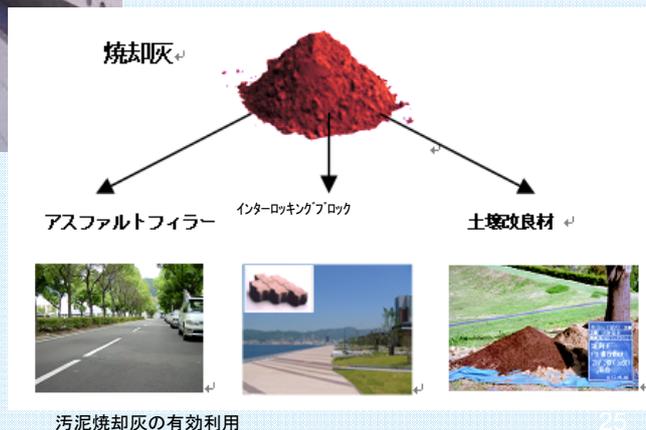
3. 環境にやさしいみち

(1) 環境に配慮した技術の導入



透水性ブロック舗装

(2) 建設リサイクルの推進



25

Point. 1 柱の再編 みちづくりの指標について

	指標	計画策定時	平成26年度末
I 安全・安心 を守るみちづくり	1) 市民アンケートによる満足度	39.5%	41.5%
	2) 道路交通における死傷事故率	176件/億台キロ	177件/億台キロ
II 環境に配慮したみちづくり	1) 市民アンケートによる満足度	40.5%	46.6%
	2) 渋滞による損失時間	5,376万人・時間/人 ⇒6,279万人・時間/人	
	3) 環境基準達成率	74%	88%
III 魅力にぎわいを創出するみちづくり	1) 市民アンケートによる満足度	42.0%	48.1%
	2) 道路を利用したイベントの総日数	108日間	125日間
IV 神戸の経済活動を支えるみちづくり	1) 市民アンケートによる満足度	61.6%	65.2%
	2) ピーク時旅行速度の向上	29.4km/h ⇒25.8km/h	

※計画全体の指標として、5年毎に現状を確認する

Point. 1 柱の再編 みちづくりの指標について

指標	計画策定時	平成26年度末
1)市民アンケートによる満足度	42.7%	45.8%
2)道路交通における死傷事故率	176件/億台キロ	177件/億台キロ
3)渋滞による損失時間	5,376万人・時間/人 ⇒6,279万人・時間/人	
4)CO2排出量		
5)道路を利用したイベントの総日数	108日間	125日間
6)ピーク時旅行速度の向上	29.4km/h ⇒25.8km/h	

27

Point. 2 推進に向けた視点の設定

① +design(工夫・アイデア)を取り入れる

- ・ 景観や仕組み、考え方をデザイン

② ICTやビックデータなど次世代技術の導入

- ・ ITS(高度道路交通システム)やプローブデータ等の活用

③ 公民連携の推進

- ・ 民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用

④ 協働と参画の推進

- ・ 計画から維持管理まで、行政と市民、地域が一体となったみちづくり

28

Point. 3

地域の特性に応じた施策の推進

地域ごとに課題が異なる

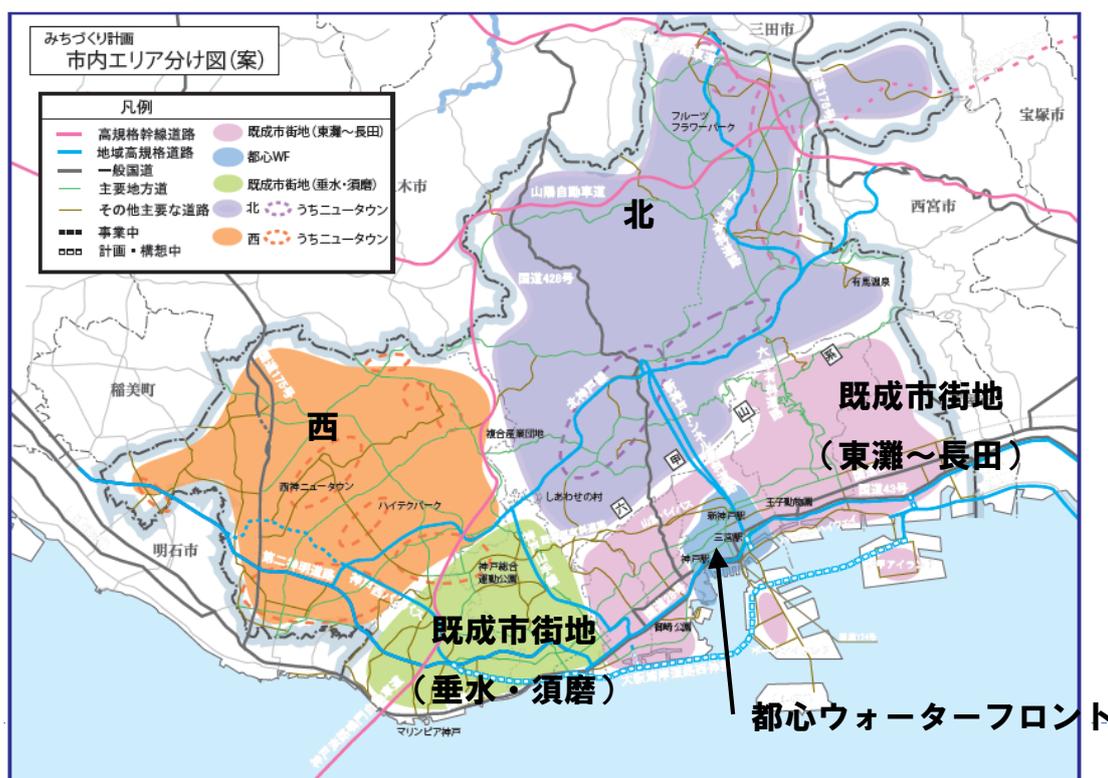
市域をいくつかのエリアに分け、
エリアごとに課題を整理

地域の特性に応じた施策の推進

29

Point. 3

地域の特性に応じた施策の推進



30

みちづくり計画 改定のポイント

以下の3つのポイントからみちづくり計画を改定する。

Point1. 柱を3本に再編する
2020ビジョンの方向性を受けて、「Life」「Network」「Safety」の3本柱へ再編する。

Point2. 推進に向けた視点を設定する
計画全体を最適化するため、全ての施策に取り組む際に+designや次世代技術の導入など職員が共有すべき視点を設定する。

Point3. 地域の特性に応じた施策を推進する
地域の特性に応じた柔軟性のある施策推進をおこなうため、エリアごとに課題と主な取り組みを明確にする。



個別施策の構成

- ▶ スリム化
- ▶ 5箇年の実行計画の見直し

○現計画

【現状と課題】

【取り組みの方針】

【取り組みの内容】

【5箇年の実行計画】

- ・重点施策のみ

○改定(案)

【現状と課題】

【取り組みの方針】

【取り組みの内容】

【5箇年の実行計画】

- ・定量的に示せるものを全て記載